

令和6年度 自己評価 及び 施設関係者評価

令和7年 3月

認定こども園さら

- 「自己評価」：園の保育者が個々の自己評価を基につけた評価
 ○ 「施設関係者評価」：保護者などによる評価委員がつけた評価
 ○ 評価基準 A:十分に達成されている B:達成されている C:取り組みは行っているが、成果としては十分ではない

赤谷 麻美

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について説明及び意見
組織運営	1	明確なリーダーシップのもと、保育者が生き生きと働いている。	C	取り組んではいるものの、達成とは言い切れない	A	保護者側から見ていると、子ども達は保育者によく懐いており、保育者の笑顔で明るく接してくれている。
	2	働き方改革、ハラスメント、職務規律を意識して、職員の勤務態勢・意識の改革を図っている。	B	職業上なかなか難しい面もあるが、それなりに達成していると感じる	A	子ども達に合わせた職場環境の中、保育者達の働きやすい環境を整えようとしている。
	3	事故やトラブルに対して、組織的、迅速に対応できる体制を整えている。	A	小さな事故やトラブルも全て主任及び園長に報告し、状況に応じて対応している	A	些細な事でも、保護者に連絡報告をして、迅速な対応をしてくれている。
	4	子どもや園の実態を踏まえて教育目標を設定し、、重点化された中・短期の目標が示されている。	B	年度到達目標を立てて、その目標に向かって短期及び中期の目標をたてながら、振りかえりながらすすめている	A	子どもの成長に合わせた保育・教育を実施してくれている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
組織運営	5	園の財務運営状況が適切に公開されている。	A	ホームページに掲載をし、いつも見られる状況にある	A	ホームページで、いつも見させてもらっている。
教育・保育	1	教育目標についての共通理解が図られ、実態を踏まえた中(長)期の目標を設定している。	B	教育目標についての共通理解は、完全とは言えないまま、目標の設定となっている	A	十分に子ども達それぞれに合わせて教育目標を設定している。
	2	教育目標の具現化を目指し、教育課程を編成・実践・評価し教育活動の充実改善をはかっている。	C	教育活動の充実を目指しているものの、前項のとおり、共通理解がまだまだ十分でなく、改善の真っ最中にある	A	新人保育者や、赴任して間もない保育者も、できる範囲で教育活動を充実させようと努力している。
	3	日常的に振り返り、幼児理解に基づいて保育の改善に努めている。また、保育の記録が、次の保育に活かされ、保育計画に反映されている。	B	保育の記録により、振り返りながら、保育をすすめている	A	毎年同じことの繰り返しではなく、新しいことをどんどん取り組んで、次の保育に活かそうとしている。
	4	豊かな心を育み、主体的に生活する子どもを目指し教育活動を行っている。	B	子どもたちの主体性を引き出し、自ら活動できる体制をとっている	A	さらに通うようになって、子ども達が自分で考えて行動できるようになった。
	5	保育者は、個々の成長に向け、楽しんですごせるよう工夫した保育を行っている。	B	個々の成長に添うべく努力はしているが、保育者はその難しさを感じている	A	子ども達の成長は様々な中で、十分それぞれの子ども達に合った保育を楽しく行っている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
教育・保育	6	子どもは、安定した気持ちで生活し、園生活を楽しんでいる。	B	楽しそうに遊ぶ姿からそう判断	A	いっ 見ても、皆 楽しそうに遊んでいる。
	7	子どもは、自身の興味関心に即した遊びを楽しみ、深い学びを得ている。	B	できればそのようにと思うが、保育者としては判断しかねる	A	室内遊びも、屋外遊びも十分できる園なので、子ども達も自分の興味のあることに取り組んでいると思う。
資質の向上	1	保育者の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	C	取り組みはしているが、結果としては不十分と感じている	A	十分、子ども達のことを大事に思ってくれる保育者達が ぞろ、ている。
	2	個々の保育者が資質向上のために研究に研鑽している。	B	リモート研修が増え、各自が受けたたい研修に参加しやすくなり、その希望も増えてきている	A	リモート研修等で、十分資質向上を図ってくれている。
	3	保育者の体罰や事故、個人情報漏洩等の不祥事根絶のために組織的に取り組んでいる。	B	職員会などを利用して、話し合いの場を持っているが、組織的にという程ではない	A	保育者 それぞれが不祥事の重要性を理解し、不祥事根絶の意識を持っている。
教育環境	1	安全・安心で温かい教育環境整備に努めている。	B	安心して預けていただけるよう努めているものの、まだまだと感じている	A	全くなにも心配せず、安心して毎日預けている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
教育環境	2	事故防止のためのガイドラインを遵守し、ヒヤリハットをはじめ事故防止を最優先に考慮した取り組みをしている。	B	提出された事故報告書などから、振り返りながら再発の防止に取り組んでいる	A	事故報告書などを活かし、十分再発の防止に取り組んでいる。
	3	特別支援教育体制をするために、他機関と連携をとりながら、個別の計画に即した保育を展開している。	A	必要な機関と連携をとりながら、こどもの発達に応じた計画の基、保育を行っている	A	子ども達それぞれの発達に応じた計画・保育を行っている。
家庭・地域との連携	1	開かれた園造りを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	A	十分積極的に取り組んでいる。
	2	家庭・地域社会と連携、協力し、より安全で豊かな教育活動を目指している。	B	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	A	十分積極的に取り組んでいる。
	3	保・幼・小連携教育の視点に立った教育活動を推進するために、幼・小学校との連携を図っている。	C	連携をとりながらの就学支援ではあるが、まだ不足と感じている	A	十分、幼・小学校との連携を図っている。
	4	保護者と、子どもの育ちを共有するために保護者の実状に相応しい子育て支援のあり方を追求している。	C	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	A	送り迎えの時や、連絡帳等で子ども達のことや意思疎通を図り、それぞれの子ども達に相応しい保育・教育を考えてくれている。